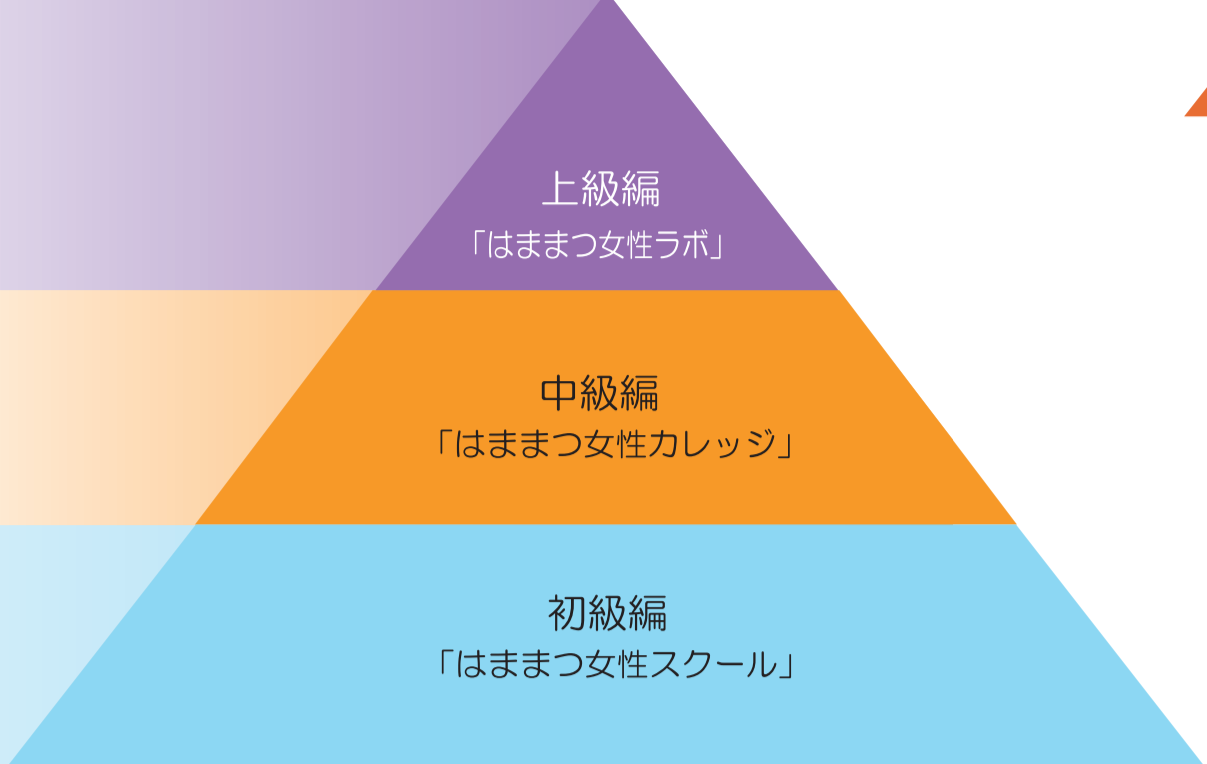


浜松男女共同参画推進協会の取り組み 1 人材育成支援

- ・課題を分析して論理的に考える
- ・広い視野で社会を多面的に捉える
- ・意見を論理的に伝える
- ・男女共同参画の視点を持つ
- ・自分ゴトから社会課題への捉え直し
- ・自分らしいキャリア形成を考える



- ・段階的、継続的な育成
- ・長期的で柔軟な支援
- ・参加者のネットワーク支援

はままつ女性スクール

自分力が高まる 5つのステップ
はままつ女性スクール

このからのステップ、自分らしく生きる。日々の生活の中で忘れていた「思い」を見つめ整理します。

託児 無料 参加 カフェタイム 無料 あり

第1回 「カラダほぐしとカフェタイム」 6月27日

第2回 「自分らしく生きるための準備」 7月4日

第3回 「リフレッシュ読書タイム」 7月11日

第4回 「先輩ママのお話」 7月25日

第5回 「これからのジブン、なりたいシブ」 8月1日

対象者 子育て中の女性、全5回 参加者 30人

講座の目的

- ・子育て期の女性を対象に、託児を利用してリフレッシュしてもらう。
- ・自分らしい生き方やキャリア形成、ライフプランを考えるきっかけとする。
- ・生き方への意識の変化を促し、「はままつ女性カレッジ」等のあいホール事業への参加を喚起する。
- ・身近なロールモデルとの交流を通して、多様な生き方や働き方に触れてもらう。
- ・育児期の女性たちの交流やネットワーク作りを支援する。

【参加者の声】

- ・身体を動かしてみても自分の身体がこり固まっていることに気づいた。これからは意識してストレッチをしたい。
- ・今、自分に必要なものから将来に向けてのものまで、多くの情報を得られる書籍を紹介してもらい、参考になった。
- ・それぞれの人がそれぞれの子育てがあり、大変なことやうまくいかないことがあるが、その中でも自分らしく生きる人生を選ぶことを教えてもらった。
- ・自分の生活、目標を可視化することで、今後の生活に活かせると思った。
- ・育児だけではなく、自分の目標を考えるきっかけになった。



内容

第1回：「カラダほぐしとカフェタイム」
育児で疲れた身体を軽い体操でリフレッシュさせ、カフェタイムで交流する。



第2回：「子どもの写真を整理してみよう」
ゆったりとした時間の中で子どもの写真を整理し、気持ちの余裕を持つ。



第3回：「リフレッシュ読書タイム」
男女共同参画の視点で選ばれたあいホールの図書を紹介し、飲み物と共に楽しむ。



第4回：「先輩ママのお話」
ロールモデルの話を通して、多様な生き方や働き方に触れ、困難や転機を乗り越える方法などを知る。



第5回：「これからのジブン」
生活の中で忘れていた「思い」を見つめ整理することで、未来の自分を思い描くきっかけを作る。

はままつ女性カレッジ

日々の気付きからキラッと光るあなたに
第5期 はままつ女性カレッジ

目的の達成の中で感じる不安や悩み、モチベーション、新たな学びの機会ではなく、社会的な視点から捉え直し、自分らしく生きるための準備。これからのステップを一緒に考え、自分らしい生き方を見つけるための準備。

会費：あいホール 10:00～12:30

第1回 9月7日 「自分らしく生きるための準備」

第2回 9月14日 「自分らしく生きるための準備」

第3回 9月21日 「自分らしく生きるための準備」

第4回 10月5日 10月26日 11月2日 11月16日 12月14日

第5回 1月11日 「自分らしく生きるための準備」

第6回 1月25日 「自分らしく生きるための準備」

第7回 2月8日 「自分らしく生きるための準備」

対象者 20～40歳代の女性、全11回 参加者 15人

講座の目的

- ・男女共同参画の視点を持ち、地域やPTA、審議会等あらゆる分野で活躍できる人材を育成すること。
- ・身の回りの出来事を社会課題として捉え直し、男女共同参画の視点でその課題解決を目指す手法を学び、自分サイズの社会参画、地域活動へと導くこと。

内容

- 第1回 オリエンテーション
「男女ともに自分らしく輝けるって～男女共同参画って何だろう?～」
- 第4次男女共同参画基本計画が進行するなか、「女性活躍推進」などが盛んに言われています。はままつ女性カレッジの開催は浜松市から、「男女共同参画の課題や解決手法を学び、地域・審議会などで広く活躍してくれる女性を育成すること」を期待され、開講されています。地域社会の課題にどう取り組むか。学びを深めています。



第2回 第1部 「第3次浜松男女共同参画計画の策定について」
第2部 「ロールモデル「自分サイズの社会活動」」



A グループ

「夏休みも悩まず働きたい！
～公的な支援、社会・地域・家族の理解・協力が不可欠だ！～」

働くお母さんの大きな困りごと、「長期休暇と学童問題」をテーマに、他市と浜松市の現状について調査報告。「ただ働くだけなのに、こんなに苦労しなければならないのか。」という発表者の言葉。働きたい子育て期のママ全ての思いを代弁して下さったように感じました。



B グループ

「女性管理職の育成と登用
～だれもがいきいきと活躍できる社会に～」

女性管理職の育成と登用が必要な理由を調査。女性管理職が増えるとはどういうことなのか、企業や組織にどのような影響を与えるのか。調査対象とされた方からのご意見を聞き、女性ならではのライフイベントや思いが伝わってきました。これから女性管理職を目指す方や現在その立場にある方にとってもそうでない方にとっても、個人でできることを考えさせられる内容でした。



C グループ

「女性が参加しやすい自治会とは」

浜松市の現役女性自治会長様へのインタビュー調査結果報告。女性や若年者が参加しやすい自治会となるには何が必要かを、自治会長様から伺ったお話を通じて発表していただきました。各グループへの質疑応答も活発に行われ、会場全体の課題意識が3つのテーマを基にさらに深まったように感じました。



第10回 「発表前リハーサル」

第11回 「発表＆交流会」

浜松市市民部の方や過去のカレッジ受講生の先輩などをお迎えして、いままでの成果発表を行います。

はままつ女性ラボ

視座を高める3日間
はままつ女性ラボ

この3日間の視座を高め、多面的に課題を捉え直し、自分らしく生きるための準備。これからのステップを一緒に考え、自分らしい生き方を見つけるための準備。

会費：あいホール 10:00～12:30

平成31年 3月1日 「もっとロジカルに！視座を高めるトレーニング」

平成31年 3月15日 「労働環境から考える女性の働き方」

平成31年 3月27日 「現場へGo! 浜松の企業を訪問する」

対象者 浜松市在住・在勤の女性、全3回 参加者 20人

講座の目的

- ・地域課題に対して考えを深め、広い視野で論理的に意見を述べる力を持った女性リーダーを養成する。
- ・男女共同参画の視点を持ち、政治、地域、市民活動等、あらゆる分野で活躍できる人材の育成。

内容

- 第1回：「浜松を数字で読み解く」
【講義】統計で見える浜松市のすがた（現在・過去・未来）
【ワークショップ】浜松市の今、これからを考えてみよう！
子育て、働く、産業、観光などのキーワードに関するデータや情報を集め、発表する。
- 第2回：「自分ゴトをニュースから深掘り～ニュースから見る女性と社会～」
女性に関するニュースで気になるものを持ち寄り、どのような社会問題が潜んでいるのかを考える。
- 第3回：「浜松のミライを語る☆交流会」（シェアタイム&大交流会）
地域で活躍する女性ロールモデルの話聞き、交流する。



【参加者の声】

- ・浜松の現状について期待していたよりも深く考えることができた。実践的なワークでコミュニケーションを取りながら楽しくワークができて刺激も受けました。（第1回中区20代）
- ・自分のモヤモヤは自分だけの思いではない、同じように感じている人がいる。そこに気づくことで、少しずつ大きな力となって社会を変えていくことにつながるのかなと思いました。（2回目中区30代）
- ・日々の生活で感じたことを市政に具体的に届ける手段があると気づけました。（3回目北区40代）

浜松男女共同参画推進協会の取り組み 2

大学、若者との連携

ILADY. in 浜松

Love. Act. Decide Yourself.

リプロダクティブヘルス/ライツ「性と生殖に関する健康と権利」講座

講座の目的 若い世代が性と生殖に関する正しい知識を得て、自らの行動やパートナーとの関係性を見つめ直し、妊娠、出産、育児について考えることが出来るよう支援する。

対象者 浜松市在住・在勤の10代～20代

日時・会場 日時：平成30年10月7日(日) 16:00～17:30 参加者 19人+見学者12人

講座内容

1) ワーク「SELECT SHOP」

セレクトショップ形式の会場で買物を楽しむような感覚で「性と生殖に関する質問(避妊具を選ぶ基準は? 月経時の下着の選択基準は?等)」について考えて、答えのカードをかごに入れてもらいながら、「自ら選択する」、「自分で決める」きっかけを体験。

2) ワーク&講義

ILADY. ノートを使って自分自身を振り返り、自分を大切に、行動、決断していくことの大切さを考える。

また世界や日本の現状を伝え、日本における性と生殖に関する情報提供を行い、正しい知識を持つことの大切さを伝える。



協力 国際協力NGOジョイセフ、学生FRESH

【参加者の声】

- ・授業や友人とは話さないことを聞いてよかったです。(10代高校生)
- ・難しかったけれど、興味深かったです。現状の数値に衝撃を受けました。(20代学生)
- ・世界中の人も大変だけれど、日本は知られていないことが多く、遅れていると改めて感じました。(20代学生)
- ・自分で考えてこなかった質問(Q感染症のこと)など選択する良い機会になった。海外の現状も知って参考になった。パートナーにも少し聞いてみようと思った(20代社会人)
- ・このような話題については、飲み場等で話すことはあったが、そうではなく、真剣に考えるこのような場は非常に貴重であると感じた。(20代 社会人)

みらいカフェ

若者対象キャリア講座「軽食付き イマドキ学生本音トーク」

開催日・開催時間：平成30年12月11日(火) 18:10～20:30

対象：浜松市内の大学に通うもしくは浜松市で就職を検討している大学生・大学院生・専門学校・短大生(学年問わず)

第1部 学生だけで理想の未来像について話し合い「未来想像シート」を使って、「仕事・働き方」「結婚・こども」「暮らし・生活」という3つの軸から、自分の理想とする未来像を書き出した上でグループディスカッション。

第2部 4名の社会人ロールモデルが加わり、価値観を深掘り「社会人カード」を使用して、「どのような考えに共感でき、どのような考えに共感できないか。」を話し合い。

カードに書かれたセリフを読み、感じたことをディスカッションしました。
 “人それぞれに役割がある気がする” “バランスが大事!” “共働きしたい。それなら家事も共に”
 “手伝う、という考え自体を見直すべき!” “やりがい大事” “休日も大事”
 “子育て優先は賛成だが、両立は難しいことも・・・?”
 社会に出ると直面する“働くこと”と“プライベート”の理想的なバランスについて、議論が白熱していました。
 ロールモデルの方も一緒に悩むなど、参加者と一体になった活発な議論が深まりました。

休憩時間には、学生ボランティア「タベボラ」さんから軽食をご提供いただきました。
 見た目だけでなく美味しい2種のサンドイッチにチョコレートのオマケつき。

最後に、「未来の自分像カード」を作成しました。
 男女共同参画を実現するために自分にできること、したいことをカードの吹き出しに書いて、お土産&自分への宣言としてお持ち帰りいただきました。



平成30年度 浜松市委託事業

ワークもライフもあきらめない!

みらいカフェ 「卒業後、どうする?」

12/11(火) 18:10～20:30 静岡文化芸術大学 講義室

軽食付き 参加無料

【対象】平成30年度 浜松市委託事業
 【会場】静岡文化芸術大学(静岡県浜松市中区中央2丁目1番11) 浜松駅より徒歩15分 講義室(文化芸術大学)下書き
 【対象】大学院・大学・短大・専門学校生(1,2年生歓迎、学年問わず) 【定員】30名(先着順)
 【申込み方法】10月15日(水)午前9時より受付開始(先着順)。電話、または、
 あいホールホームページ(https://ai-hall.com)の「講座・イベント情報」から申込み。
 【お問合せ】あいホール男女共同参画推進事業担当 浜松市 あいホール
 〒433-8123 浜松市中区幸三丁目3番1号 電話:053-412-0351
 メール:info@ai-hall.com 1週前以内にメール返信のない場合は、電話でお問い合わせください。

【日付】平成30年12月11日(火)18:10～20:30
 【会場】静岡文化芸術大学(静岡県浜松市中区中央2丁目1番11) 浜松駅より徒歩15分 講義室(文化芸術大学)下書き
 【対象】大学院・大学・短大・専門学校生(1,2年生歓迎、学年問わず) 【定員】30名(先着順)
 【申込み方法】10月15日(水)午前9時より受付開始(先着順)。電話、または、
 あいホールホームページ(https://ai-hall.com)の「講座・イベント情報」から申込み。
 【お問合せ】あいホール男女共同参画推進事業担当 浜松市 あいホール
 〒433-8123 浜松市中区幸三丁目3番1号 電話:053-412-0351
 メール:info@ai-hall.com 1週前以内にメール返信のない場合は、電話でお問い合わせください。

受講生の感想

“男性(社会)全体が歩み寄ること”
 “自分の事も相手の事も理解できる理解のある人になりたい。”
 “女性はすでに男性のことを理解して歩み寄っていたのではないか?”
 “男性、女性と志向の傾向があり、双方が、理解し合わなければならないと感じた。”

恋愛キョリ測パネル & スイーツデコでパープルリボンを作ろう♡

アウトリーチ企画「恋愛キョリ測パネル&スイーツデコでパープルリボンを作ろう」

企画の目的 男女共同参画の重要性を広く地域に発信するため、市内各所(学校、地域等)での巡回展示やイベントへの出展を通して、市内の地域へ男女共同参画を啓発する。

講座内容 パネル展示アンケートやパープルリボンワークショップを通じ、デートDVやDV防止の啓発を行う。

日時・会場 日時：平成30年11月3日(土)、4日(日) 10:00～17:00

対象者 一般市民

参加人数 おおよそ200名近くの方が来場 パネル展：約180人が回答

スイーツデコ：70人参加(提供物がなくなり終了)

1) パネル展示アンケート「恋愛キョリ測!」
 内閣府男女共同参画局のデートDV教材を活用し、恋愛における自分の行動パターンを客観的に判断するワークを実施する。
 「相手の予定を逐一確認する」「無理やり手を握る」等、恋愛中に自分が選びがちな行動を複数の選択肢から選び、大型ボードにシールを貼る。
 自分の恋愛に対する考え方やパートナーとの距離感を見つめ直し、自分以外の人の多様な考え方を知るきっかけとする。

2) スイーツデコでパープルリボンを作ろう
 パープルリボンモチーフとしたスイーツデコを作るワーク。
 完成後は、パープルリボンのメッセージが記載されたカードを渡し、女性に対する暴力防止を啓発する。

成果

- ・普段は会えない幅広い層、特に小学生～大学生、若手社会人と接点を持つことが出来、デートDVの啓発を進めることが出来た。
- ・パネル展では、誰もが関心のある「恋愛」をテーマにしたことで、大学生をはじめ、カップルや家族連れなど多くの方に来場してもらうことができた。
 グループやカップルで来場した方は、設問への回答をお互いに確認し合うことで、価値観の違いに気付く、意見交換する場面もあり、自分自身の恋愛観を確認してもらうには良い機会であったと言える。
- ・来場者からも「面白い」「普段考えない事なので新鮮です」という言葉も出た。
- ・スイーツデコの創作では、パープルリボンについて質問を受けることも多くあった。ワーク時間も使いながら、パープルリボンの説明や、デートDVについて話をすることもできたため、女性に対する暴力防止の背景を理解いただくことに繋がると感じた。
- ・アンケート回答中やスイーツデコ創作中に職員が声をかけ、自然な会話で恋愛や家族のことについて聞くことができ、今後の講座開発や事業への参考となった。
- ・あいホールを知らない方にもあいホールの講座や相談室の存在を知ってもらえることができた。



平成30年度 浜松市委託事業

来てね!!

恋愛キョリ測パネル & スイーツデコでパープルリボンを作ろう♡

静岡文化芸術大学 碧風祭 11月3日(土) 4日(日) ブース北331

恋愛キョリ測パネルとは?
 あなたの恋愛キョリを測定し、心地よい恋愛について考えるパネル展示です。これからの恋愛や人間関係に活かすことができますかも!

無料で「パープルリボン」をモチーフにしたスイーツデコが作れます
 パープルリボンをテーマにしたスイーツデコの制作。お子様でも参加できる簡単なワークショップです。

パープルリボンとは?
 女性に対する暴力防止のシンボル。1994年アメリカで始まりました。紫色のリボンを身につけることで、暴力の下に身を置いている人々に勇気を与えようとの願いから、40年以上広がっています。